平成29年度小田原市·箱根町·真鶴町·湯河原町 地域障害者自立支援協議会 事業報告

(1) 全体会

- ○第1回全体会 平成29年6月27日(火) 10時~11時30分 小田原市生涯学習センターけやき2階大会議室
- ▶ 平成28年度自立支援協議会決算について
- ▶ 平成29年度自立支援協議会事業計画及び予算について
- ▶ 平成28年度障害福祉サービス等の利用状況について
- ▶ 平成28年度委託相談支援事業実績について
- (一)第2回全体会 平成29年11月20日(月) 13時30分~14時30分小田原市生涯学習センターけやき2階大会議室
- ▶ 1市3町第5期障がい福祉計画(素案)について
- ▶ 平成29年度自立支援協議会事業実施状況等について
- ○第3回全体会 平成30年2月16日(金) 10時~12時 小田原合同庁舎2階2B会議室
- ▶ 1市3町第5期障がい福祉計画(案)について
- ▶ 平成29年度自立支援協議会事業報告について
- ▶ 平成30年度自立支援協議会事業計画(案)及び予算(案)について
- ▶ 平成29年度委託相談支援事業実績について

(2) 専門部会

① 相談支援部会

部会長・相談支援センターういず 近文子

【1市3町自立支援協議会】

- ○第1回部会(1市3町相談支援事業所連絡会共同開催) 平成29年11月14日(火) 15時~17時 小田原合同庁舎2階2E会議室
- ▶ 「サービス等利用計画」の共有と課題抽出について 計画相談は小規模な事業所が多いため、他の相談員の計画を見る機会が少ない。 各々の「サービス等利用計画」を共有し、計画を作るうえで大切にしている部分や 課題の共有を行った。

運営会議において各グループから出た課題に共通する内容などを抽出し、今後の部 会で取り上げる内容を検討していく。

▶ 移動支援の利用に係る課題抽出について

8月25日開催の2市8町相談支援事業所連絡会で、移動支援の対象者や支援内容について課題を集約する場があったら良いという意見を受け実施。全身性障害ではないが外出ができない身体状態の方を支援対象にできないか、本人の自立を考えた時に自宅だけを発着点にしなくても良いのではないかなどの意見が出された。

○第2回部会(コア会議) 平成30年2月5日(月) 16時~17時30分 おだわら障がい者総合相談センタークローバー内 ▶ 来年度の部会の取組について

来年度の部会の取組について協議。第5期障がい福祉計画でも取り上げられた「基 幹相談支援センター」「地域生活支援拠点」等を含め、今後の相談支援体制の研究 を行う。また、計画相談の質を向上させるための研修的な要素を含んだ取組を、圏 域ナビゲーションセンターと共同で開催していくこととした。

【県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター共同開催】

- ○2市8町相談支援事業所連絡会 平成29年8月25日(金) 15時~17時 小田原合庁舎2階F会議室
- ▶ 各市町の移動支援・日中一時支援事業の支給決定基準等について 各市町で利用内容や支給決定基準を定める地域生活支援事業について、2市8町の 運用に違いがある。計画相談員は広域で活動をすることも多いため、運用方法について確認する場を持つことになった。支給決定基準の確認を行うとともに、現在の 基準では対応できないような対象者や支援内容について検討していける場が必要 ではないかという意見があげられた。
- ○2市8町相談支援事業所連絡会 平成30年2月22日(木)15時~17時 小田原合庁舎2階EF会議室
- ▶ 『これからの障害児者福祉について ~報酬改定を中心に~』 講師 日本知的障害者福祉協会政策委員会委員長・河原雄一氏
- ○第1回事例検討会 平成29年7月14日(金) 15時~17時 小田原合同庁舎2階D会議室
- ➤ それぞれの子どもや家庭に様々な課題を抱えた世帯への支援について、グループスーパービジョンを行った。
- ○第2回事例検討会 平成29年10月13日(金) 15時~17時 小田原合同庁舎2階D会議室
- ▶ 神奈川県居住支援協議会・入原修一氏、(株)新櫻宅建・門田和彦氏を招き、障がいがある方の住まいに関する支援等について講義を受けた。
- ○第3回事例検討会 平成29年12月11日(月) 15時~17時 尊徳記念館3階301会議室
- ▶ 特定相談支援事業所と委託相談支援事業所が連携して手帳取得に至ったケースについて、グルスーパービジョンを行った。
- ○第4回事例検討会 平成30年2月16日(金) 18時~20時 尊徳記念館3階301会議室
- ▶ 養護学校になかなか通うことができない事例について、グループスパービジョンを 行った。
- ② 就労支援部会(平成26年度設置)

部会長・障害者支援センターぽけっと 渡辺直人

○第1回部会(コア会議) 平成29年8月2日(水) 13時30分~15時30分 ハローワーク小田原3階大会議室

- ▶ 部会長の選出について 障害者就業・生活支援センターぽけっと・渡辺氏に決定
- ▶ 就労支援部会の取組について

部会員が抱える課題感を共有。養護学校、就労移行、就労継続、計画相談で就労自立に向けた目標やアセスメントの共有が十分にできていないことが課題の一つとしてあげられた。それに対する取り組みとして、事業所が集まり意見交換をする場を設けることとした。

平成30年度の雇用率の改正に向けては、他機関の取組に適宜協力することとした。 〇第2回部会 平成29年10月24日(火) 15時~17時

小田原合同庁舎2階2G会議室

▶ 就労継続支援事業所(1市3町)、就労移行支援事業所(2市8町)による課題の 共有について

就労継続支援事業所、就労移行支援事業所に分かれて意見交換を行った。普段の取組を情報交換することにより、自分の事業所でも活用できる様々な取組を知ることができた。

就労継続支援事業所については、就労を目指すだけではなく、事業所の支援の充実として工賃の向上が一つの目標になる。就労移行支援事業所については、就労支援事業所同士、養護学校、計画相談などが共通して使えるアセスメントツールがあることが就労に向けての支援に役立つという話があげられた。アセスメントツールの作成に当たっては、就労支援部会内にぽけっとと就労移行支援事業所を中心としたワーキンググループを設置し検討していくこととした。

- ○第3回部会(コア会議)平成30年2月7日(水)13時30分~15時小田原市生涯学習センターけやき2階第1会議室
- ▶ 今年度の活動について 共通のアセスメントツールを作ることで、就労に対して一つの事業所だけで考える のではなく、多機関が連携して考えていくことができる。
- ▶ 来年度の部会の取組について

就労移行支援事業所を中心とした共通アセスメントツールの作成と、就労継続支援 事業者を中心とした情報交換の場を行っていくこととした。就労定着支援が創設さ れることなどで、今までとは違った就労へのステップを考える必要も出てくる事が 考えられるので、コアメンバーを中心に必要な内容を考えていくこととした。

- ○第4回部会 平成30年3月16日(金) 18時~19時30分 小田原合同庁舎4階小田原保健福祉事務所実習室
- ▶ 講演 「就労継続支援B型事業所「mai!えるしい」の取組」 講師 (福)湘南の凪 「mai!えるしい」 サービス管理責任者 大房雅之氏
- ➤ 就労継続支援事業所 (2市8町) を対象に、逗子市にある「mai!えるしい」のスタッフを講師に招き、外部コンサルテーションを活用した取組等についての講演をおこなった。また、制度改正についてや各事業所の取組の共有を行い、各事業所が支援の質や工賃の向上につなげるきっかけになる情報交換ができた。

【共通アセスメントツール作成ワーキンググループ】

- ○第1回ワーキンググループ 平成30年2月2日(金) 3時~5時 障害者支援センターぽけっと
- ▶ 就労移行支援事業所(2市8町・5事業所参加)及びぽけっとで開催
- ▶ 情報共有について 就労移行支援事業及び平成30年度から始まる就労定着支援事業について情報共 有を行った。
- ▶ 共通アセスメントツールについて 共通アセスメントツールについて意見交換を行った。次回は各事業所で使用しているアセスメントツールを持ち寄り、検討をすることとした。
- ③ 子ども部会(平成26年度設置)

部会長・ほうあんホッと相談カフェ 大水健晴

- ○第1回部会(コア会議) 平成29年7月21日(金) 15時~17時 ほうあんふじうみ4階会議室
- ▶ 部会長の選出について ほうあんホッと相談カフェ・大水氏に決定
- ▶ 子ども部会の取組について

昨年度の部会で取り上げられた事業所間の連携強化、教育と福祉の連携が課題として確認された。事業所間の連携強化は、療育の質向上に関する研修を通して、事業所間で共通認識を持てるようにする。教育と福祉の連携については、教育委員会が部会員として加わったため、機会を捉えて学校等へ周知していく。

- ○第2回部会 平成29年10月26日(木) 10時~12時 小田原合同庁舎2階2D会議室
- ▶ 講義・演習 「今日から使える適切支援」

講師 臨床心理士・橋本友紀氏

子どもとの関わりにとって重要な「愛」について、フロムの言葉から「愛は技術であり、学ぶことができる」を紹介。「責任・尊重・配慮・理解」の視点に支援をあてはめて考えた。また、行動の強化について映像を使い解説した。

講義内容が事業所で実際に定着することを目的に、事業所で講義内容をどう反映させたかを報告する事後アンケートを配布している。

- ○第3回部会(コア会議) 平成30年1月16日(火) 10時~11時30分 小田原市役所5階教育研究所研究室
- 第4回部会について

第2回部会の感想をできるだけ第4回部会の運営に反映できるようにする。放デイ 事業所が「支援の入り口」について共通の認識を持って取組めるように研修内容を 意識する必要があるという意見が出た。

▶ 来年度の部会の取組について

来年度の部会の取組について協議。療育の質を高める取組としては、OT と心理士による研修を行う。教育と福祉の連携については、小田原養護学校を会場に教員と放デイ事業所スタッフが事例検討できる場を設けることとした。

- ○第4回部会 平成30年2月20日(火) 10時~12時 小田原合同庁舎3階EF会議室
- ▶ 講義・演習 「発達障害学童における言語・コミュニケーション能力の発達支援」 講師 言語聴覚士・遠藤重徳氏

学童期に発達する言語・コミュニケーション能力について、言語聴覚士として検査 結果からアセスメントをおこない、療育支援をしている内容について話があった。 支援員については、生活の中からアセスメント行い、どこが子どもの発達の最近接 領域なのかを見極め、説明できる支援をしていくことが大切であるという話があった。

【教育機関への周知活動】

- ○支援教育研修会 I 平成 2 9年 7月 3 1日 (月) 1 1時~1 1時 3 0分 小田原市役所 7階大会議室
- ▶ 市内小中学校の支援教育研修の展開ができる教員に対し障がい福祉制度を説明
- ○チーム相談会議 平成29年8月3日(木) 16時~16時30分 小田原市役所5階教育研究所研究室
- ▶ 教育指導課相談係(指導主事、SC等)に対し障がい福祉制度を説明
- ○第2回登校支援担当者連絡会議 平成30年2月14日(水)16時~16時30分 小田原アリーナ研修室
- ▶ 市内小中学校の登校支援担当(不登校等)の教員に対し障がい福祉制度を説明
- ④ 権利擁護部会(平成28年度設置 障害者差別解消支援地域協議会実務者会議兼) 部会長・神奈川県知的障害福祉協会県西地区施設長会 河辺邦夫
 - ○第1回部会 平成29年11月30日(木) 13時30分~15時15分 小田原市役所6階601会議室
 - ▶ 障害者差別解消法及び障害者差別解消支援地域協議会について 事務局から解消法及び地域協議会について説明。
 - ▶ 事例検討

統合失調症を患っている方が一人暮らしをするためにアパートの契約をしようとしたが、不動産屋に断られたケースについて検討。不動産屋が障害や障害に対する支援について理解を深められるような、啓発活動が望まれる。「相互理解」が必要との話がでた。

▶ 部会の運営について

事例検討を受け、障害者と支援者だけで話をするのではなく、普段は障害者とあまりかかわりがないような人も一緒に話ができたら良いという意見があげられ、商店の方と一緒に協議をする場を設けることとした。

- ○第2回部会 平成30年3月14日(水) 13時30分~15時 小田原市生涯学習センターけやき4階第2会議室
- ▶ 商店街連合会(一般商店の意見を聞くため)、ぱあとなあかながわ西湘支部(後見人としての意見を聞くため)、小田原バリアフリーを考える会、視覚障害者福祉会、

聴覚言語障害者福祉会の出席を依頼、聴覚言語障害者福祉会以外の出席があった。

- ▶ 障害者差別解消法及び障害者差別解消支援地域協議会について
- ▶ 事例検討

視覚障害者福祉会から差別と感じた具体的な状況の説明を受けた。普段、障がい者と接せることが少ないと、どのように話しかけたらよいかわからないこと、知らないうちに差別的な対応をしてしまっていることもあるなどの意見があげられ、当事者からは、わからないことは率直に聞いてもらえたほうが嬉しいとの話があった。当事者らに障がい者への理解が進んだ世の中を考えてもらうと、何気ない声かけができている状態ということがあげられた。支援者からは、支援をしていても係わりのない障がい種別だとわからない事も多く、啓発の大切さを感じたとの意見などがだされた。

⑤ 精神障害者地域生活支援部会(平成29年度設置)

部会長・公益財団法人積善会 本杉康行

- ○第1回部会 平成29年11月1日(水) 10時~11時30分 小田原市生涯学習センターけやき4階第2会議室
- ▶ 部会長について 曽我病院・本杉氏に決定
- ▶ 部会名について 「精神障害者地域生活支援部会」に決定
- ▶ 部会での取組について

現在感じている課題について話をした。入院患者の地域移行について、地域で安心して生活を送るための受け皿を整えること、家族の負担感などがあげられた。部会員の意見を分析し、今後の取組を検討していく。

- ○第2回部会 平成30年3月15日(木) 10時~12時 小田原市生涯学習センターけやき第1会議室
- ▶ 第1回部会であげられた課題の整理について

「精神障害がいの地域生活の充実」「発達障がい者への支援」「精神疾患の普及啓発」が地域の課題として集約された。

▶ 来年度の部会の取組について 集約された課題ごとにワーキンググループを作り、具体的な取組を行っていくことと した。

(3) 運営会議

- ○第1回運営会議 平成29年6月13日(火) 18時~19時 おだわら総合医療福祉会館1階会議室
- ▶ 第1回全体会議について
- ▶ 平成29年度の部会について
- ○第2回運営会議 平成29年8月15日(火) 18時~19時30分 おだわら総合医療福祉会館1階会議室
- ▶ 各部会の活動状況について
- ▶ 相談支援部会の運営について

- ○第3回運営会議 平成29年11月28日(火) 18時~20時30分 おだわら総合医療福祉会館1階会議室
- ▶ 各部会の活動状況について
- ▶ 相談支援部会の振り返りについて 相談支援専門員が集まって話ができる場や地域課題の抽出と取組を行える場が必要との意見があげられた。
- ▶ 第5期小田原市障がい福祉計画(素案)について 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点について、現状や今後の方向性に意見交 換等を行った。
- ○第4回運営会議 平成30年2月13日(火) 18時~19時 おだわら総合医療福祉会館1階会議室
- ▶ 各部会の活動状況について
- ▶ 平成30年度の部会について
- ▶ 第3回全体会議について